



SMART V BOARD

Smart digital visual board

テレワーク専用 / リモート会議システム

最新AI+IOT/ICT技術の活用



※2020年2月 最新プラン

テレワーク用 専用ハードウェア + ソフトウェア



WHAT'S BETTER FOR YOU?

WHAT'S BETTER From home?

OR

WHAT'S BETTER From office?



Communicating 「Electronic whiteboard」 For remote work / remote conference



「AI automatic meeting record」
Creation function



WORKING REMOTELY

*for employees and
managers*

Read the latest posts at:
www.goldenberg.co.jp

Revolution with SMART DATA V BOARD—3D data display and 5G transmission



WORKING FROM HOME AND LIVING ABROAD CHALLENGES

74 THINGS TO KNOW ABOUT WORKING FROM HOME ABROAD



Remote working

The Challenges of Working from Home

SMART DATA V BOARD
www.goldenberg.co.jp

簡単オンライン会議

どこにいても参加可能・テレワークに最適なツール

RemoteMeeting Business



会議参加は接続コードで

6桁の接続コードを受取り、入力するだけでOK



質の高いビデオ会議

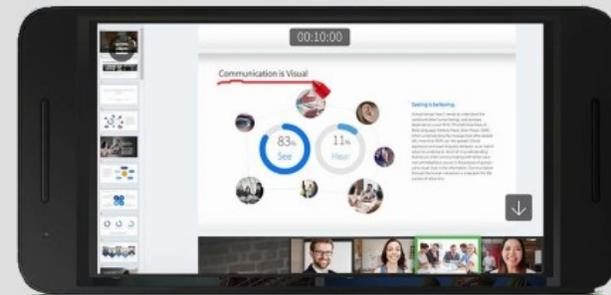
話者感知機能による画面表示で会議も快適



今すぐ始めてみましょう!

会議で大活躍な便利機能

会議室の作成や会議への招待もらくらく完了 画面/ドキュメント共有・絵画ツール・ポインター



企業の業務効率を支援する最新のAI・IoT・ICT技術を搭載した通信デバイス

■ ICT・IoT技術を搭載したOA機器の一体型複合機

- ・ 通信する「電子ホワイトボード」を搭載・QRコードによる画面転送機能搭載・IoTモニタリングシステム連動
- ・ Android OS 8.0を搭載した企業版スマートデバイス ～ 一体型複合機 ※Windows OSは別オプションでOPS搭載可

■ IoT・ICT双方向性通信による情報共有・会議システムの活用

- ・ ICT双方向性による情報共有・会議の高度化(電子黒板の活用)
- ・ 企業用 大型通信ツール・表示モニターとしての活用

■ リモートワーク・遠隔リモート会議用・研修や教育ツールとしての活用性

- ・ 新たな社会課題解決に向けた遠隔コミュニケーションの活用 ※RSupport

Before 従来はオフィスに様々なデバイスが混乱

単一機能しかない、通信のインターフェースが複雑化しているため
一括操作・制御が出来ないデバイスがオフィスには混乱



ホワイトボード・プロジェクター・ディスプレイモニター・音響スピーカー
カメラ・タブレット・デスクトップパソコン・デジタルサイネージ

After ALL in oneの一体型複合機

タッチセンサー搭載の電子通信ホワイトボードは
99ページまで使用可能



最新M3モデルは、全てをALL in ONE デバイス化

2020年モデル AI + IoT + ICTの技術を活用したテレワークの最高の仕事効率

最新のハードウェアとソフトで実現する「テレワーク」

SMART V BOARD
Hardware



RSUPPORT
Software



AI (人工知能) + **IoT** (通信ホワイトボード) + **ICT** (双方向性通信)

AIを活用した自動音声認識による**自動議事録の作成**
「電子ホワイトボード」搭載

- Android OS 8.0を搭載した**マルチリモートミーティング用複合機**
- リモート会議用の**オンラインWEB会議システム**を搭載
- コミュニケーションの量を**電子ホワイトボード**を活用して高める
- **電子ホワイトボード**に書かれた内容を**QRコード**で会議内容を画面を通して遠隔で転送可能
- データ通信量が小さいため、スマホアプリからも接続できる
- リモートワークにかかる経費申請・処理が大変になる→**QRコード決済アプリ**

※2020.5月末リリース予定



テレワークと電子ホワイトボード同時にICT通信による最新機能を搭載した電子ホワイトボードを活用

社長・部長・課長・係長などの管理職の方は**会議主導者**として自宅又はオフィスに通信する「ホワイトボード」を設置して**従来と変わらぬ会議環境を構築可能です**。ホワイトボードに入力した内容はQRコードを読み取ることで瞬時に転送可能です。いちいち議事録を作成しメールで共有する必要がありません。

在宅会議主導者/管理職

会議をする主導する人

在宅用 小型スマート電子ボード



※管理職用 本社オフィス又は自宅設置用

ノートパソコン



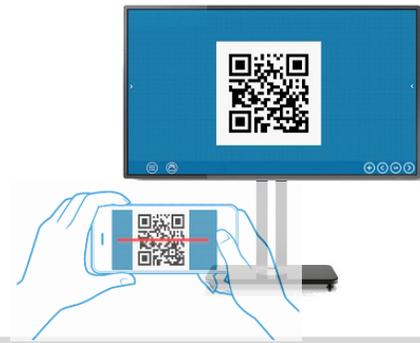
収音器搭載型カメラ

在宅 部下/新入社員

会議に参加する人



会議終了と同時にQRコード表示で電子ホワイトボードの内容を簡単転送



スマホQRコード機能でPC画面越しに読み取り
→瞬時にデータ転送

ノートパソコン



タブレット



スマホ



2020年モデル AI + IoT + ICTの技術を活用したテレワークの最高の仕事効率

「テレワーク」の課題を最新技術で解決する・・・

ICT 技術

1

(搭載技術):電子モニターと通信QRコード伝送システムを構築

テレワークにおいてノートPCなどのモニターだけでは業務報告や簡単な打合せは出来ても議論や新規検討する場合はやはり難しい。事前に作成された会議用の資料をモニターに表示して共有するだけで従来の「ホワイトボード」が使用できない会議だと突っ込んだ議論が出来ない。

解決 → 通信する「電子ホワイトボード」活用



(例)部長の自宅

AI 技術

2

(搭載技術):発言内容のAI自動記録機能

マイクからの「音声」だけでは発言内容をメモして議事録を作成するのに大変な手間がかかる

解決→音声の書き起こしや業務報告を自動化のために音声認識AIを活用する



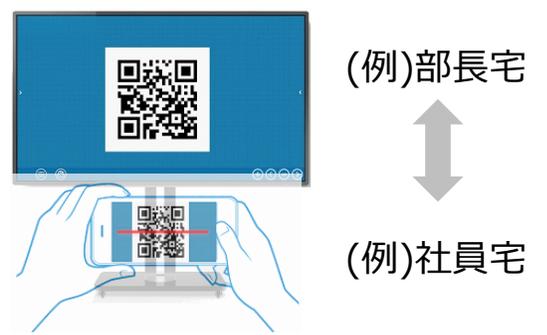
QR 技術

3

(搭載技術):記録内容のデータファイルQRコード組成機能

「テレワーク・オンライン会議」においては、ヒアリングと会話に集中し「電子ホワイトボード」上で議論して記録した会議内容を画面越しにQRコードで瞬時に伝送できる

解決→QRコードを組成してPCやスマホ画面を通してデータ転送を実現する



企業の業務効率を支援する最新のAI・IoT・ICT技術を搭載した通信デバイス

ICT・IoT・AI技術を搭載した最高のパフォーマンス



一体型複合機—通信電子ホワイトボード・会議システム・Android OS 8.1を搭載した企業・教育版スマートデバイス

最大30拠点まで同時接続が可能なRemoteMeeting会議教育、研修などの様々な分野で活用できます。

 **複合機能を搭載したスマート電子ボード 1万社以上の導入実績**
スマート電子ボードはAndroid8.1を搭載しており、Windows OSをデュアルで搭載が可能のため様々なソフトウェア、アプリ(APKファイル)を使用することが可能です。

 **グローバル1万社以上の導入実績**
RemoteCallのセッションは月100万件以上。今この瞬間も、全世界でRemoteCallの顧客サポートが行われています。

 **通信する「ホワイトボード」QRコード読み取りでホワイトボードを自動転送**
電子ホワイトボード(黒板機能)を搭載しているため遠隔会議・授業・研修時に議論や提案内容などを実際に電子ホワイトボードを使用してカメラとQRコード伝送機能を併用することで画面共有が簡単に実現できます。

 **サービス安定性**
グローバル15ヶ国にサーバー構築し、世界中で安定したサービスを提供しています。2重サーバー構築で障害の心配もありません。

 **海外実績 出荷3万台突破-M3最新モデル**
M2モデル、M2Aモデルを経て2019.12月より発売を開始しまして月間3000台のペースで全世界に輸出を行なっております。

 **サービス開始から15年**
世界で初めてリモート技術を使った遠隔支援製品の開発・製品化に成功。研究開発を続け、関連特許を全世界で60件以上取得しています。

IoT ハードウェア リモートで現場に行かなくてもリモートで現場の状況を把握



最新ハードウェア Hardware



デュアルOS搭載 Android/Windows
「通信するホワイトボード」1mmのタッチ精度で実現



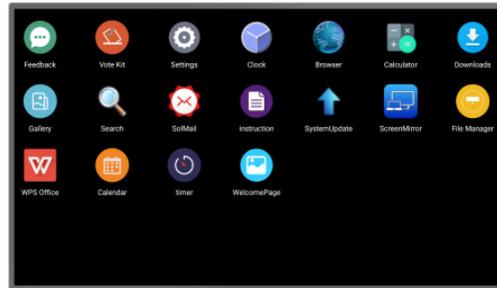
通信型「電子ホワイトボード」機能
※通常の99倍の面積(99ページ分)



IoTモニタリングシステム表示可能
※DATA Vとの連動



Android OS 8.0を標準搭載
※Windows10/純正OPS デュアル可



Android OS 8.0による各種ソフトウェア
アプリケーション搭載可能

Data Vによるリアルタイムデータ可視化



Data V は、2D および 3D マップに基づいた経路図、ヒートマップ、散布図などの地理的な情報とデータを組み合わせたグラフを作成する機能を備えています。

管理センター、地域別分析、リアルタイムモニタリング、運用画面などのさまざまなテンプレートが用意されており、簡単にカスタマイズすることができます。プロのデザイナーが作成したように高品質な画面が表示されます。

企業の業務効率を支援する最新のAI・IoT・ICT技術を搭載した通信デバイス



最新ハードウェア Hardware



Android OSで搭載可能な全ての機能 「通信するホワイトボード」を1mmのタッチ精度で実現

- Android 8.0 / 8コアプロセッサ / RAM : 3G / ROM : 32G
- Android CPUはA73 / A53コア1.5G以上 / メモリ3G DDR4以上
- サポートオペレーティングシステム : Win7 / Win8 / Win8.1 / Win10 / macOS、システムバージョン : Android≥5.0.1

■ Androidのクワトロスクリーン機能 : 複数のデバイスを同時に接続する場合、さまざまなシーンに適したディスプレイスクリーン、シングルスクリーン、デュアルスクリーン、クワトロスクリーンのサポートを自由に選択できます。

- 高精度赤外線タッチフレーム
- 解像度 : 3840×2160
- フルHD 4K解像度ディスプレイ要件
- 輝度 : ≥400cd/ m²
- 解像度≥32767 * 32767
- 色度は1.07B (10ビット) 以上

- ストレージメモリ32G以上を使用
- VGA入力 / HDMI入出力(2+1ポート) / RS232 / LAN / PC-AUDIO / S-PDIF出力
- OPS / オーディオ出力 / DP
- 互換性のあるインターフェース : USB3.0 / 2.0 / 1.1をサポート

- 高品質の炭素鋼強化ガラス製
- フロントパネルにはインターフェースがなく、4辺の薄いフレーム設計は航空宇宙用アルミニウム素材を採用
- アルミニウム酸化処理 (シンプルな外観)
- モース7硬度を採用し、ディスプレイの安全性とライティングの安全性を確保します。
- 本体サウンド再生、HDMI拡張子音源、ワイヤレス音源、3.5mm外部音源

- ブートロゴを交換可能、カスタムブート画面
- Androidでの外部カメラの自動認識
- タッチコントロールスイッチ:誤操作を防止するカスタムタッチスイッチ

- ホワイトボード:ペンの太さ、ペンの色、背景を自由に変更可能、色を自由に編集
ドラッグ、拡大、縮小可能ページ、画面のクリア、保存、画像の挿入、99ページ以上のページの追加、ページプレビューの削除。
- ホワイトボード状態で、10ポイントの書き込み可能

- ホワイトボードは、Uディスク、メール、携帯電話でQRコードをスキャンする
3つの保存方法をサポート
- デュアルWIFI設定、双方向WIFIサポート2.4G / 5Gデュアルバンド、WIFI接続ネットワークとしての1つの方法、もう1つはホットスポット投影で、同じ画面のパスワード設定スイッチで互いに干渉しないで、会議をより安全にします。

- Bluetooth伝送のBluetoothサポート

- 画面上のミラーリングとカウンター制御 : 演説者が表彰台で話すとき、スマホまたはタブレットを使用して、パワーポイント会議をしながらノートPCの画面をボードから逆に制御が可能です。

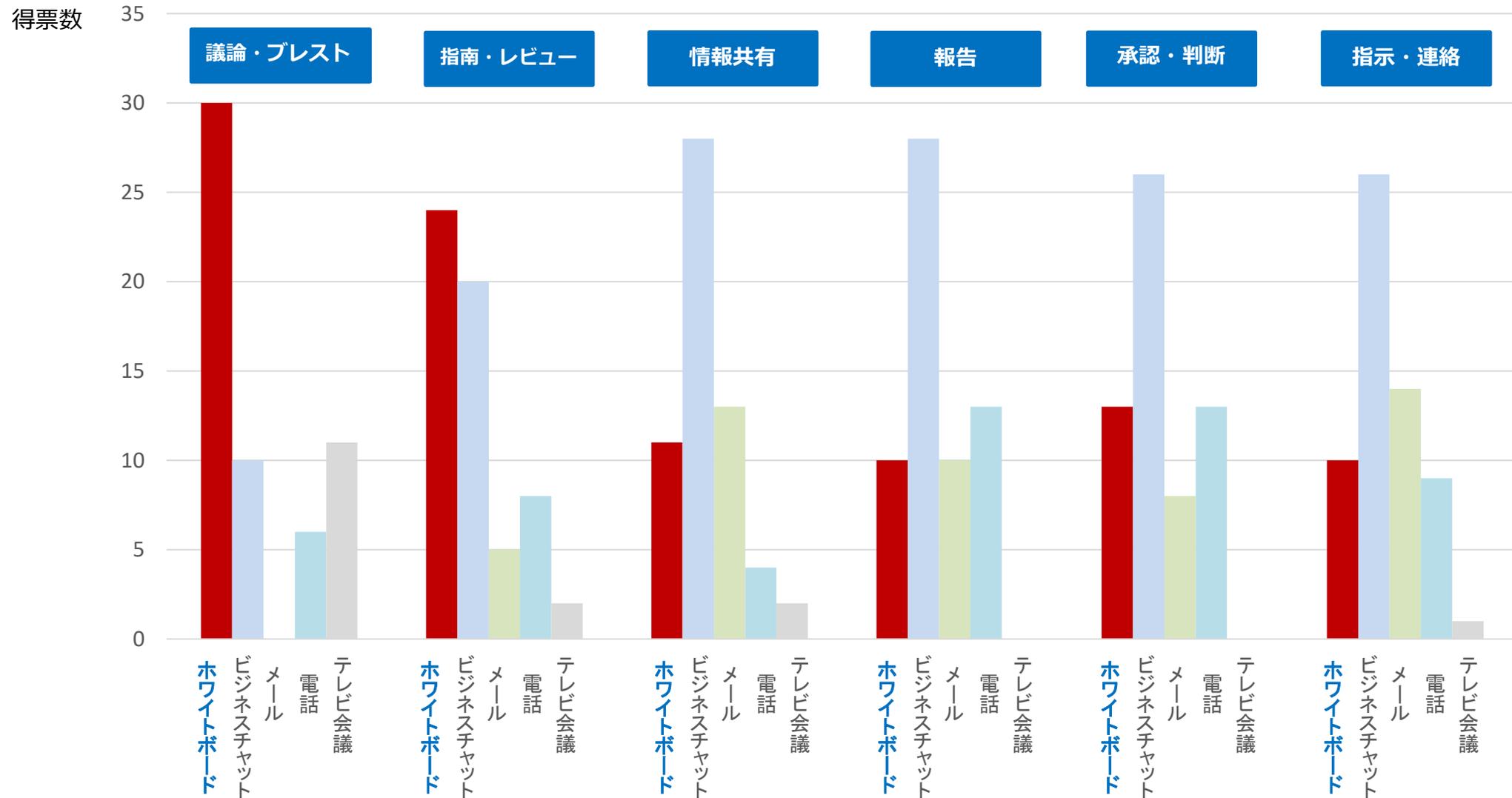
- ノートPCなどからボード画面に表示させる時の方法として、3種類の双方向システム搭載
A:ワイヤレスミラーリング B:プラグイン内蔵OPSコンピューター C:HDMI有線コード使用
※ノートブックまたはデスクトップを接続するためのUSBケーブル

- 外付けの有線または無線接続コンピューターをサポートして、タッチオールインワンで拡張画面表示を行い、タッチリターンをサポート

コミュニケーションの種類と手段の最適化—通信する「ホワイトボード機能」

ホワイトボードの利用が多いコミュニケーションは、通常でビデオ通話だけでは難しい

※アンケート100人:あなたの優先するコミュニケーションツールは何ですか? ※複数回答あり

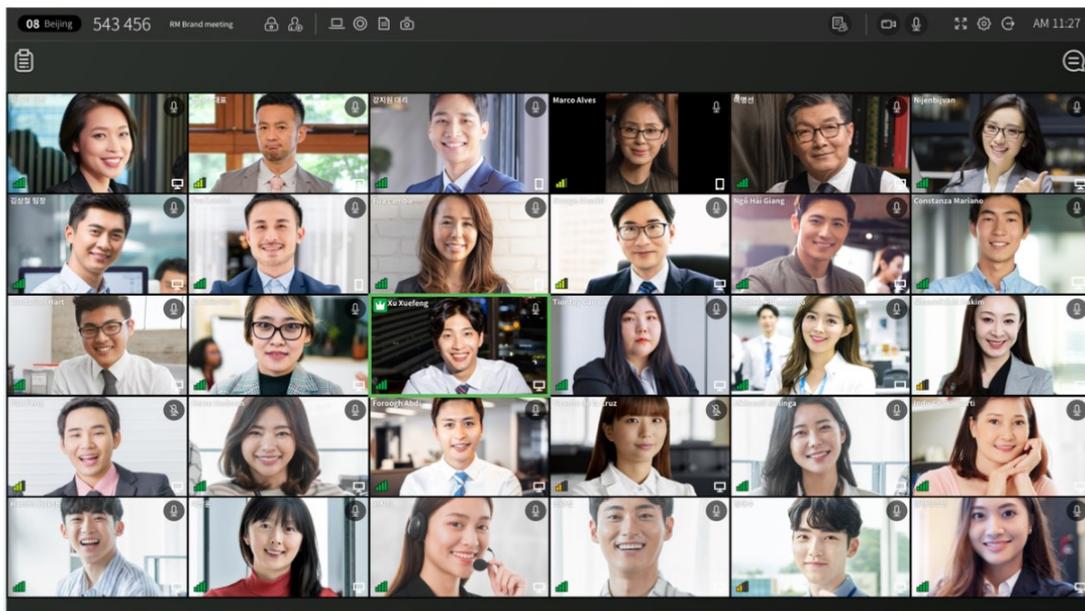


オンラインWEB会議システムー誰でも・簡単に・すぐに使用でき、操作方法の学習が不要

リモートミーティングはSMART DATA V BOARDが推奨する共同作業のためのWeb会議アプリケーションです。PCはもちろんのこと、モバイル端末でもいつでもどこでも簡単に多拠点（同時参加最大30拠点）Web会議を行うことができます。誰でも・簡単に・すぐに使用でき、操作方法の学習が不要です。

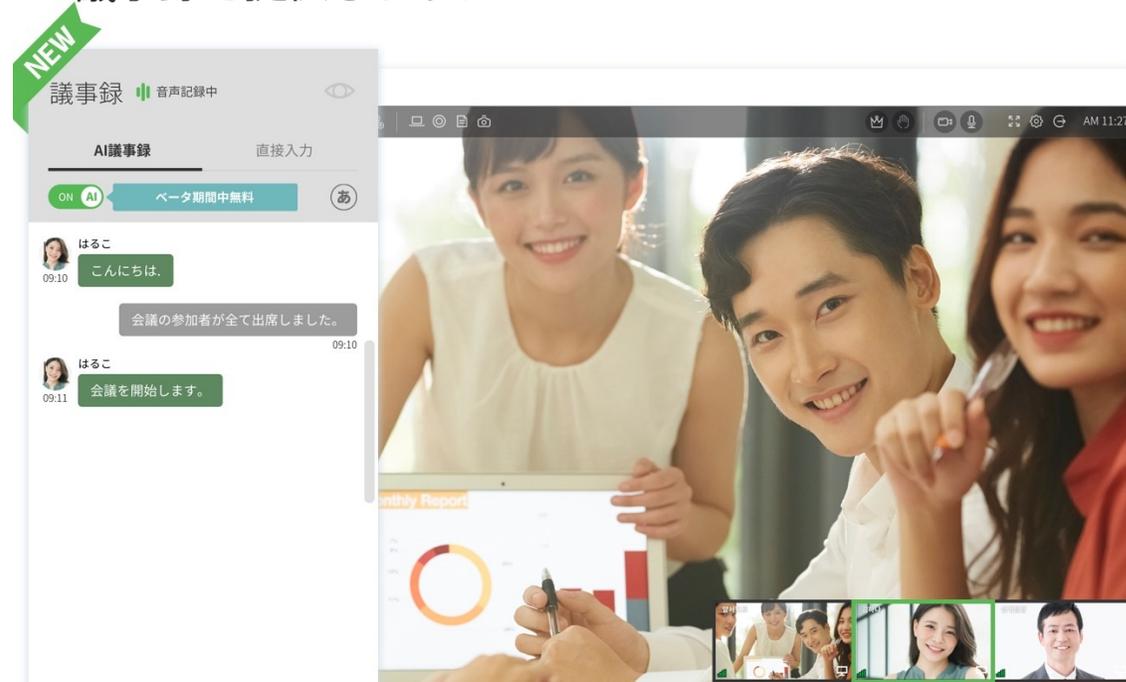
最大30拠点で行うWeb会議

最大30拠点まで同時接続が可能なRemoteMeeting
討論、講義などの様々な分野で活用できます。



AIデモで簡単にRemoteMeeting

話者の音声をテキストに自動変換する音声認識機能で
AI議事録を提供します。



オンラインWEB会議システム—SmartData V boardとリモートミーティングが選ばれる理由



インストールの必要なし

PCのChromeブラウザですぐに会議スタート！
プログラムインストールの必要がありません。



ウェブブラウザ簡単操作

シンプルな画面構成なので誰でも簡単に操作
することができます。



モバイル端末にも対応

iOSやAndoroid端末からも会議ができるので
テレワークにもご活用いただけます。



簡単な会議参加

接続コードやURL、招待メールで簡単に会議への
招待・参加することができます。



ビジター機能

アカウントを持っていない相手も簡単にWeb会議へ
参加することができます。



リーズナブルな価格

利用シーンに合わせて、料金プラン選択が可能。
Web会議導入の負担を軽減しました。

会議録画

会議の様子を録画し、クラウドに保存することができます。いつ、
どこでもアクセスできるので、重要な決定事項を逃しません。

モバイル端末から参加

モバイル端末を使っていつ、どこでも会議を主催したり参加する
ことができます。低速なネットワーク環境でも、解像度を調節す
ることで支障なく会議を行えます。

企業管理者向け機能

会議の主催者が議事録を作成する際に、画面を表示させるこ
とができます。会議への集中力を高め、質の高い議論が期待
できます。

企業管理者向け機能

管理者がRemoteMeetingをより円滑に運営できるように統
計、履歴、ユーザー管理導入後の節約費用状況確認などの各
種管理機能を提供します。

Web会議サービス—Remote Meetingサービス料金プラン

お客様のご利用シーンに合わせて、サービス料金プランを選択が可能です。

定額制プラン

990円/ID(月額)

**無制限
使い放題** ※5名様以上の契約から

特長

- 会議ルーム開設の数制限なし
- いつでも独自で会議の開始参加可能
- 利用時間の制限なし
- ビジターも簡単に会議参加可能(無料)
- 最大30拠点から会議参加可能
- ユーザー管理機能提供
- 便利な記録機能
- モバイルアプリ提供
- HD画質対応

従量制プラン

初期費用0円
から始められる

29円/分
使用した
時間だけ払う

特長

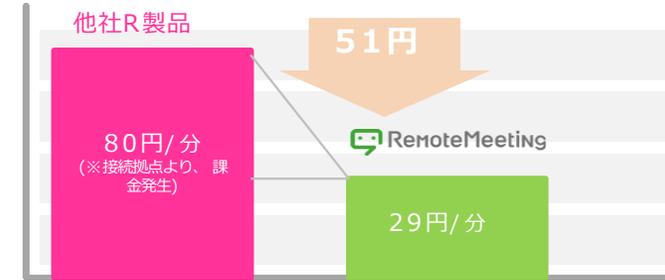
- ユーザー登録数制限なし
- 会議時間に合わせた料金支払いが可能
- 追加会議拠点による追加料金なし
- ビジターも簡単に会議参加可能(無料)
- 最大30拠点から会議参加可能
- ユーザー管理機能提供
- 便利な記録機能
- モバイルアプリ提供
- HD画質対応

プラン名		料金プラン					
従量制	時間課金	29円/分					
定額制プラン	ID課金	ID数 (料金段階)	月額料金 (ID/1名)	例:ID 購入数	月額料金 合計	1年契約前払い 10%オフ	初期費用
				5 ~ 20名	¥990	5	
		21 ~ 100名	¥970	10	¥9,900	¥106,920	
				20	¥19,800	¥213,840	
21	¥20,770	¥224,316					
100	¥97,400	¥1,051,920					

他社Web会議サービスの料金比較

Q1. 50人規模の会社でのWeb会議システムで適切な料金プランは?

① 従量課金制(※2拠点からの接続基準)



② ID課金制(※50ID購入基準)



※ご契約は、5名様用ID以上からとなります。
 20名様用IDまでの料金計算: ID数 x 月額料金(ID)
 21名様ID以上の料金計算: 前料金段階の最大月額料金合計 +
 (ID数 - 前料金段階の最大ID数) x 利用する料金段階の月額料金
 例>150IDの場合: 97400円 + (150ID - 100ID) x 940円 = 144400円

すぐにWeb会議をスタート

パソコンやIT機器の操作が苦手でも大丈夫！
リモートミーティングなら誰でもWeb会議をスムーズに行うことができます。



プログラムインストールは、機械操作に慣れている人でも面倒なもの・・・RemoteMeetingはパソコンへのプログラムインストール無く、いつものWebブラウザからすぐに始めることができるため、パソコン操作に苦手意識のある人でも使いやすいと好評です。



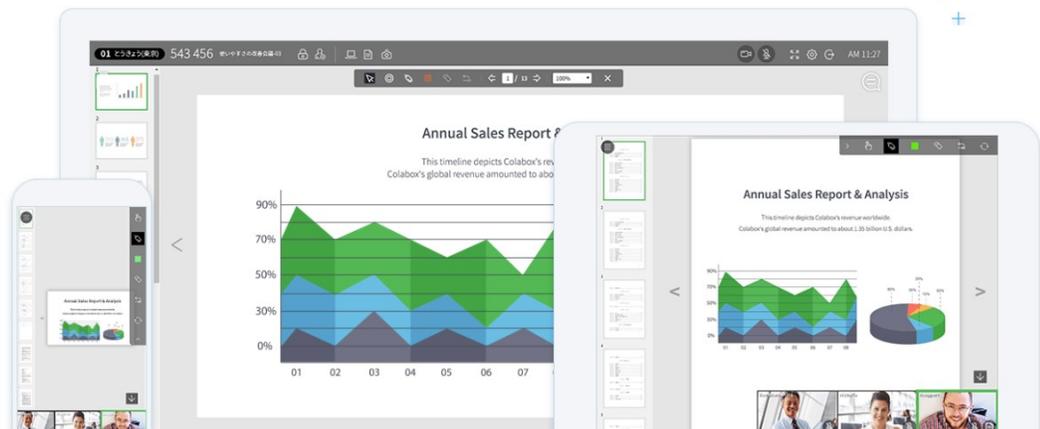
拠点や部署により異なるIT環境、新しい機器やプログラムの導入にはさまざまな問題が発生しがち・・・インストールが不要なのでその分エラーも少なくなり、Web会議導入や乗換時もシステム担当者の負担を軽減することができます



インストールの必要なWeb会議システムの場合ソフトウェアのアップデートが不可欠です。急いでいるときにかぎってアップデートが表示される・・・
RemoteMeetingならそんな心配も無し！いつもWebブラウザから最新のシステムをご利用いただけます。

ハードウェアとセットで使うテレワーク用のRemoteMeetingの便利な5つの機能

同じ空間にいるようなコミュニケーションを実現便利な機能でさらに効率的でスムーズな会議を行うことができます。



対応ドキュメント形式



MS Word (DOC, DOCX)



MS PowerPoint (PPT, PPTX)



TXT



GIF, PNG, TIFF, JPG



MS Excel (XLS, XLSX)



Adobe Acrobat (PDF)

議事録

会議の内容や情報について議事録を共同で作成することができます。

ドキュメント共有

ドキュメントやイメージを共有し書き込みやレーザーポインタを使いながらプレゼンができます。

画面共有

全画面または、アプリケーション画面を共有することができます。

チャット

会議の参加者とチャットで会話をします。

録画

ワンクリックで録画を開始、クラウドに保存します。

- PC画面共有：PC（Webブラウザ）で他の参加者にPC画面を共有して作業環境・プログラム・Webサイトなどを同時に見ながら共同作業をすることが可能です。
- ドキュメント共有：PC（Webブラウザ）で他の参加者にドキュメントを共有して同時に資料を見ながら会議を進めることができます。
- 描画：共有されたドキュメントにレーザーポインター機能を使用してドキュメントに直接表記をしながら双方向でのコミュニケーションを取ることができます。
- 会議録（タイピング方式）：会議の内容をリアルタイムで作成・記録して会議参加者全員に共有できます。
- AI会議録（ボイスレコード方式）：会議内容を入力せずに音声を記録して会議参加者全員に共有できます。
- 録画：Web会議を録画して会議の内容をいつでも再確認することができます。
- タイムライン：他の参加者たちとチャットを通じてマルチ会議を進行することができ、会議中に起こるイベントもタイムラインに記録されます。
- 進行役モード：より効率的な会議を行うために、発言権をコントロールします。

テレワークの問題となる通信の安定性を独自のAMS開発で改善

リモートミーティングの接続方式

AMSにより接続対地数が増加しても必要帯域は上り約2.5M、下り約3Mから増加しません。

RemoteMeeting AMS

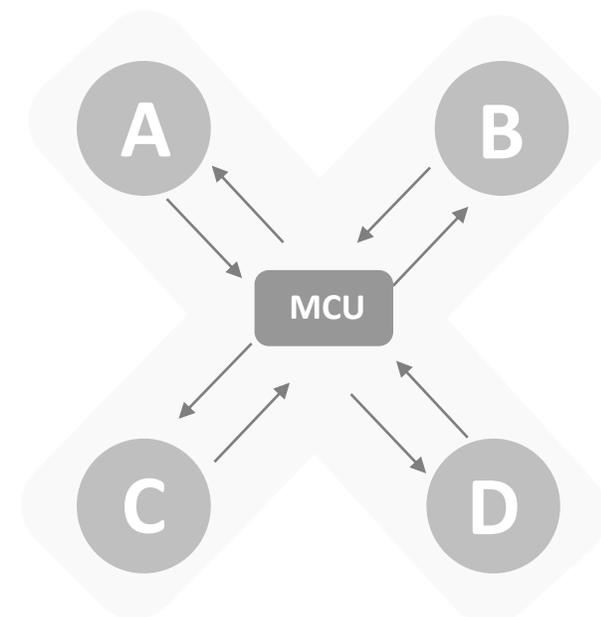
■ RSUPPORTが開発したHybrid MCU AMS(Advanced Media Server)
効率的な映像音声処理が可能な構造

AMSは状況に合わせてMCUとSFU、ふたつの方式で動作します。メイン画面はSFU、サブ画面(PIP)は、MCUで処理。10端末以上から接続している会議に性能の低いモバイル端末で参加しても、安定したWeb会議を行うことができます。また、最小のネットワーク帯域幅で、HD画質のWeb会議を行うこともできます。

ネットワーク帯域幅と
デバイスのリソースを
最小限に抑える

10~30%

削減



議事録とタイムライン

共有したドキュメント上でレーザーポインターを使い説明箇所を強調できます。
参加者同士での書き込みも可能なので共同作業にもぴったりです。

議事録

チャット・タイムライン

- 参加者別に音声情報テキストを自動変換し記録
- 議事録をファイルに保存
- 会議中に議事録を作成・編集
- 参加者同士の同時書き込みも可能
- アジェンダで会議の進行管理
- 過去に作成した議事録を読み込み
- メールによる共有
- クラウドに保存・確認

話者感知機能でもっとリアルな会議に

参加者の多い会議でも、話者を自動的にメイン画面へ表示するので快適な会議が可能です。メイン画面は選択することもできます。



ハードウェアとセットで使うテレワーク用のRemoteMeetingの便利な5つの機能

会議室の利用状況を一目で確認できます。**空いている会議室を選択し、会議室を開設**します。**議事録を開き、過去の会議について確認**することができます。



会議が進行中の会議室です。ロックされていない会議室は会議に参加出来ます。

会議履歴が表示されます。会議タイトル・日時・時間・参加者議事録が表示されます。

[主な機能]

- 会議を開設：ログイン後、ラウンジ（会議室）を選択すると自動的に会議室が開設されます。
- 会議に参加：6桁の接続コード、会議室番号、会議室名（会議室の都市名）、招待メールのURLなど、様々な方法で簡単に会議に参加することができます。

[使用方法]

1. 会議の開設方法：

- ① アプリを実行
- ② ログイン
- ③ ラウンジで空いている会議室を選択
- ④ 会議参加者を招待

2. 会議の参加方法：

- ① アプリを実行
- ② ログイン
- ③ ラウンジで会議室を選択または接続コードを入力して会議に参加

※ 会議招待メールの接続URLをクリックすると、自動的にアプリが実行され、すぐに会議が始まります。
※ ホームページ(www.remotemeeting.com)でアカウント登録後、サービスをご利用いただけます。
※ 通信会社の料金プランによってデータ料金が加算される場合があります。

リモートミーティングの利用環境

利用できる端末

Windows PC、Mac、iPad、iPhone、Android 端末

動作環境

Webブラウザ : Chrome 58.0以降

OS : Windows7以降/MacOSX10.9以降
Android4.4以降/iOS9.0以降

CPU : Dual-core2.4GHz以上

RAM : 2GB以上

通信速度 : 500Kbps以上
(推奨帯域 : 上り2.5Mbps 以上/下り3Mbps以上)

画面共有対応ドキュメント形式

Pdf ・ ppt ・ pptx ・ doc ・ docx
xls ・ xlsx ・ txt ・ jpg ・ png ・ gif

さまざまな周辺機器との互換性

RemoteMeeting BoxはWeb会議に必要な関連機器と一緒にお使いいただけます。

これまで使っていた音響機器やスピーカー、プロジェクターにも接続しご利用いただけます。



DATA V — IoTデバイス モニタリング&データ分析 システム構築

豊富なグラフパターンや地図と融合した視覚化機能などを兼ね備えた、高機能なリアルタイムデータ可視化



プレゼンテーション



投資関係の会議、プレスリリース、展示会、四半期報告書などのさまざまな設定でビジネスパフォーマンスデータを表示します。

モニタリング



データドリブンなビジネスの成長を推進します。稼働状況等のリアルタイム表示、早期警告、迅速なアクションへの支援などが可能です。

意思決定



多次元データのライブプレゼンテーションにより、潜在的なデータの価値を発見でき、新しいビジネスチャンスにつながります。

使いやすいインターフェイス



グラフィックインターフェイスと設定ウィジェットを使用して、簡単なドラッグアンドドロップ操作でダッシュボードを作成できます。



生産者から流通業者まで全てのサプライヤーにサービスを提供し、需要と供給の不均衡のリスクを低減しゴミの廃棄を削減します。



データの可視化を元に消費者動向を正確に把握し、新商品企画開発・生産計画・販売計画を実施する。リアルタイムな自動分析、それをオンラインコンサルティング、オンライン診断などのニーズを実現することも可能。

City Incident Perception and Intelligent Processing

Alarm Received **9878**
 Captured by Video **2439**



Police Car **87** Ambulance **32** Fire Truck **19**



Public Transportation and Operational Vehicle Scheduling

Bus **1569** Taxi **7739** Public Bikes **86** thousand



Bus Traffic Index **7.3** %

Taxi Loading Rate **57.9** %

Bicycle for Rent **50.5** %

Parking Volume **240.0** thousand cars

Subway Flow **17.6** thousand

Outpatients **5.7** thousand

ET BRAIN

Total Traffic Today **460.3** thousand $\uparrow +0.67$

Scenic Area Traffic **18.1** thousand $\downarrow -0.03$

Expressway Traffic **224.6** thousand $\uparrow +0.34$

Delay Index **2.0** $\downarrow -0.08$

Congestion Index **7.3** $\downarrow -0.74$

Traffic Situation Perception and Signal Light Optimization

Main Stem Avg Speed **43.4** KM/H $\uparrow +6.13$

High Way Avg Speed **66.4** KM/H $\uparrow +4.99$



Intersection Name	Congestion Index
5 Tongxie Road	11.9
6 Fengqi Road	11.9
7 Jiefang Road	11.9
8 Wensan Road	12.1

Intersection Alarm

Intersection Name	Congestion Index	Alarm
5 Tianmushan Road-Machen...	0.15	Alarm
6 Daguan Road-Jiaogong Ro...	0.11	Alarm
7 Baoshubei Road-Baoshu R...	0	Normal
8 Hemu Road-Yabanong-Do...	0	Normal

Social Governance and Public Security

Restricted Vehicle Count: **8,920**

Ban-breaking Incident Count: **132**



GOLDEN BERG

**IoT Device sensor
With NB IoT
communication**



**遠隔業務を実現する
NB IoTデバイス**



**DATA V
モニタリングシステム**



**Temperature and
humidity sensor**



UV sensor



**Smart manhole
sensor**



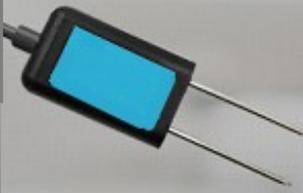
**Trash can
sensor**



**Temperature and
humidity sensor**



**Split type carbon
dioxide sensor**



Soil PH sensor



**Numeric pressure
table**



IoT DTU BOX



Smoke sensor



**Ethernet type
ammonia gas sensor**



**Temperature and
humidity sensor**



Wind speed sensor



**Wind direction
sensor**



**Weather
measurement box**



**Particulate
matter sensor**



Methane sensor



**LoRa type
hydrogen
sulfide sensor**



**Atmospheric
pressure sensor**



**Light illuminance
sensor**



**Agricultural
system host**



Rainfall sensor

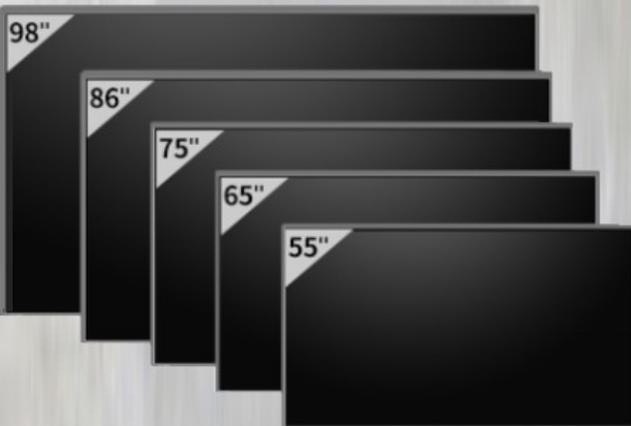


**Sulfur hexafluoride
gas sensor**



**Explosion-proof
oxygen sensor**

2020年 最新モデル M3 IoT・ICTデバイスボード サイズ展開



55inch

W1300mm×H771mm

10㎡程度の会議室
2～6人用

65inch

W1518mm×H895mm

15㎡以内の会議室
8～12人用

75inch

W1745mm×H1023mm

15～25㎡以内の会議室
10～15人用

86inch

W1998mm×H1169mm

25～50㎡以内の会議室
12～25人用

98inch

W2242mm×H1298mm

50～80㎡以内の会議室
20～40人用

【ハードウェア】

- **本体** : Android 8.0+通信する「電子ホワイトボード」
- **付属品** : タッチペン・ミラーリング用デバイス・HDMIコード用カメラ

※Windows用OPSは別途対応可

【ソフトウェア】

- **会議用のソフトウェア** : リモートミーティング

【設置・保守】

- **組立・設置費用**

【導入機器等の操作説明にかかる費用】

- **ハードウェア及びソフトウェア 使用トレーニング費用**